

2021年度

1. 科目名 (単位数)	レクリエーション理論 (2単位)	3. 科目番号	GEHL1103
2. 授業担当教員	佐藤 友樹		
4. 授業形態	講義・演習 (配布資料または参考書を用い、ディスカッションやワーク、実技を行う)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	レクリエーションワークの授業を履修した後に履修することが望ましい。		
7. 講義概要	<p>健康づくり、保育、教育、地域づくりなど幅広い領域で用いられているレクリエーションについて、これからの社会の課題などに関連させながら学習する。また、様々な対象(幼児・児童・生徒・成人・高齢者など)に対応したレクリエーション援助の意義について理解するとともに、多様な場面での対象者にふさわしいレクリエーション支援の技術(個別・グループ・環境)を実践的に身に付け、活用できるようにする。</p> <p>授業では基礎理論とその実践を、対象者を挙げながら講義していく。また、レクリエーションの企画・運営の演習を交えながらレクリエーションの意義を学ぶ。特に、対象の背景や特性からレクリエーションの目的・目標や、どのようなレクリエーションプログラムが適切かを考え、それを実践し評価・反省することにより、レクリエーション支援の理論を学習していく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクターの資格の取得を目指す(取得希望者)。 2. レクリエーションの基礎理論を理解し、説明できる。 3. 様々な現場での様々な対象者にあつたレクリエーションの援助方法を知る。 4. レクリエーションの企画・運営ができる理論・知識を身につける。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>授業内において以下のことに取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レクリエーション大会を企画・運営(展開案を作成・発表、レクリエーション支援を実践)する。 2. 課題レポートを作成する。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 必要に応じて資料を配布する。</p> <p>【参考書】 公益財団法人日本レクリエーション協会「楽しさをとおした心の元気づくりレクリエーション支援の理論と方法」公益財団法人日本レクリエーション協会、2017。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レクリエーションの特質を捉えて、自己への挑戦・前向きな姿勢(出席状況含む)を評価基準とする。 2. 実技発表への取り組み姿勢と分かりやすい表現・明瞭かつ論理的なレポートを作成できたか。 3. 授業を振り返り、レクリエーションへの考え方や自己への課題を前向きに捉えることができたか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への積極的参加態度 50% (出席状況や意見発表を含む) 2. 実技発表・課題レポート 40% 3. 振り返りのレポート 10% <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	レクリエーションの実施においては、とくに積極的な参加を期待します。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	シラバスに目を通して本授業内容を確認する。
		事後学習	今後の学習計画を立てる。
第2回	レクリエーション支援の技術	事前学習	「アイスブレイキング」「ホスピタリティ」について調べる。
		事後学習	「アイスブレイキング」「ホスピタリティ」について整理する。
第3回	幼児期・児童期のレクリエーション	事前学習	幼児期・児童期のレクリエーションについて調べる。
		事後学習	幼児期・児童期のレクリエーションにおいて重要なことを整理する。
第4回	青年期・中年期のレクリエーション	事前学習	青年期・中年期のレクリエーションについて調べる。
		事後学習	青年期・中年期のレクリエーションにおいて重要なことを整理する。
第5回	老年期・障がい者のレクリエーション	事前学習	老年期・障がい者のレクリエーションについて調べる。
		事後学習	老年期・障がい者のレクリエーションにおいて重要なことを整理する。
第6回	レクリエーション大会の企画① ➤ 展開案作成の準備	事前学習	「クリスマス」をテーマとしたレクリエーションについて調べる。
		事後学習	「クリスマス」をテーマとしたレクリエーション大会の企画に挑戦する。
第7回	レクリエーション大会の企画② ➤ 展開案作成	事前学習	展開案作成のための資料を収集し、整理する。
		事後学習	作成した展開案をチェックし、発表用の資料を作成する。
第8回	レクリエーション大会の企画③ ➤ 展開案発表	事前学習	発表の練習をする。
		事後学習	発表を振り返る。

第 9 回	レクリエーション大会の準備	事前学習	福祉の現場におけるレクリエーション大会の運営の仕方について調べる。
		事後学習	レクリエーション大会の予行練習をする。
第 10 回	レクリエーション大会① ➤ 1 日目	事前学習	レクリエーション大会の準備をする。
		事後学習	レクリエーション大会の評価をする。
第 11 回	レクリエーション大会② ➤ 2 日目	事前学習	レクリエーション大会の準備をする。
		事後学習	レクリエーション大会の評価をする。
第 12 回	レクリエーション大会③ ➤ 3 日目	事前学習	レクリエーション大会の準備をする。
		事後学習	レクリエーション大会の評価をする。
第 13 回	レクリエーション大会④ ➤ 4 日目	事前学習	レクリエーション大会の準備をする。
		事後学習	レクリエーション大会の評価をする。
第 14 回	レクリエーション大会⑤ ➤ 5 日目	事前学習	レクリエーション大会の準備をする。
		事後学習	レクリエーション大会の評価をする。
第 15 回	まとめ（授業の振り返り）	事前学習	これまでの授業内容を振り返り、レクリエーション支援の方法について検討する。
		事後学習	レクリエーション支援の方法について整理する。
15. 実務経験を有する 教員特記事項	スポーツクラブや企業における児童体操講師、幼稚園での課外体育講師としての実務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		